



国際交流員カロリンのコラム

ハッピーバレンタインデー Fröhlicher Valentinstag (フルーリシャ ヴァレンティンスタグ)



2月14日はバレンタインデーですね！

街を歩くと、赤いハートやチョコの宣伝をよく見かけます。日が差す時間が長くなって、気持ちが明るくなる、恋の季節です。

ドイツの街でもバレンタインデーの宣伝を見かけるようになる時期です。でも、ドイツと日本のバレンタインデーの習慣は、とっても違うんですよ。

日本では、女性が男性にチョコを渡しますね。だから私は、去年、チョコを作るための道具を揃えて、友達とチョコを手作りしました。私は元々お菓子作りが好きなので、とても楽しかったです！

チョコを友達や職場の方に贈る習慣も、ドイツで育った私にとっては新鮮でした。友チョコ、義理チョコ、本命チョコ……自己チョコまであって、面白いですね。最初は、言葉の意味が分からなかったです。日本では、自己チョコで1人でもバレンタインデーを楽しめるなんてビックリです。

ドイツのバレンタインデーは、自分で作るより、買ったものをカップルで交換して祝うことが習慣になっています。男性はよく花束やネックレスを贈り、女性も男性に愛のこもったお返しをします。あとは、日頃は行かない高級レストランで食事を楽しみます。

ただ、バレンタインデーを大切にしているカップルばかりではありません。私の周りにも、バレンタイン



デーを気にしないカップルがいます。

ドイツで最近とても人気になったプレゼントは、南京錠です。2人の名前と付き合い始めた日付を刻んだ南京錠をどこかの橋に付け、鍵は、見つからないように川に落としてしまいます。永遠の恋のお守りです。

日本の橋でも、たまに南京錠を見かけます。どちらが先だったかは知りませんが、世界中に広まった習慣かもしれませんね。



日本もドイツも、バレンタインデーの習慣は、戦後アメリカから伝えられたと聞きました。

それぞれの文化に合わせて発展したのでしょう。今は、日本とドイツで大きく違います。ドイツには、ホワイトデー也没有。

ところで、私は、ドイツで手作りチョコを作った人を聞いたことがありません。ドイツでは、お菓子やクッキーはよく作りますが、チョコは買います。

ドイツ人の友達に日本のチョコ作りの習慣を話すと、「いろんなチョコがあって、誰にでも贈ることができるのはいいね！手作りチョコは誕生日のプレゼントにもちょうどいいね！」と言っていました。

ドイツに帰っても、友達と一緒にチョコを作るチャンスができました。今年はどんなチョコを作ろうかと楽しみです！

日本語スピーチ発表会

市国際交流協会では、ボランティア講師による日本語教室を開講しています。毎週土曜日と日曜日に、外国籍住民の方に日本語を指導していて、アジアを中心とした様々な国籍の方が受講しています。

今年で第8回となる発表会では、受講者の方に日々学んでいる日本語を披露していただきます。発表会の後には、発表者と交流できる茶話会もあります。申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

■日時 2月16日(日)

午後2時～5時10分

■場所 グリーンタウンコミュニティセンター

■問い合わせ先

市民協働推進課 ☎(32)8887

※イースターイベントとママパパ English については、28ページと34ページを check！



TAKE FREE

広報しもつけを設置してくださるコンビニエンスストアなどのお店を募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課 ☎(32)8886までご連絡ください。

PC・スマホ
市ホームページ

